

現状・主な実施事業等から見る前期計画の振り返りと課題

目指す姿

I-1 子どもの遊びや体験が大切にされ、主体的に参加し意見表明できる

施策の方向

- コミュニケーション能力を育てる
- 参加と意見表明の場や機会の確保
- 子どもの悩みに対処する体制の充実

○現状・主な実施事業等

① コミュニケーション能力を育てる

- ・子どもセンター事業の利用者満足度は高く目標達成
- ・ひなた村イベント事業の利用者満足度は高く目標達成
- ・今後も対象イベントの拡充及び満足度の維持に努める

○現状・主な実施事業等

② 参加と意見表明の場や機会の確保

- ・子ども委員会委員数は、目標を上回り、今後は委員の出席率が上がることで、中高生になった委員の継続参加が課題
- ・ひなた村イベント事業の参加校数は目標を下回り、引き続き、参加校、参加団体の拡充に努める。

○現状・主な実施事業等

③ 子どもの悩みに対処する体制の充実

- ・教育相談の相談開始までの時間短縮及び相談員の課題解決能力の向上をさらに継続していく
- ・子ども家庭支援センターの相談件数は増加している

課題…
○参加と意見表明の場や機会における中高生になった委員の継続参加や参加校、参加団体の拡充が課題
○増加する相談に対応する体制の充実や相談員の資質の向上が必要

目指す姿

I-2 大人になっていく力をつける

施策の方向

- 幼児教育・保育の充実
- 学校教育の充実
- 思春期の子どもたちの心と身体
の健康教育
- 体験活動の充実

○現状・主な実施事業等

① 幼児教育・保育の充実

- ・すみれ教室の地域支援において保護者からの依頼で行う保育所等訪問支援の利用が増えている
- ・職員のスキルアップ研修の支援は計画通り実施

○現状・主な実施事業等

② 学校教育の充実

- ・学力向上推進プラン第2次を策定、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進
- ・小中一貫教育・町田っ子カリキュラムを改訂

○現状・主な実施事業等

③ 思春期の子どもたちの心と身体 の健康教育

- ・概ね計画通り実施

- ・大地沢青少年センター事業は利用者の高い満足度が得られている
- ・子どもセンター事業は活動によって定員を大幅に超えるもの、満たないものがある
- ・ひなた創作教室事業は実施数、参加者数ともに目標を上回り、実施数・参加者の維持に努める

④ 体験活動の充実

○現状・主な実施事業等

課題… ○引き続き幼稚園・保育園等職員の専門的な力量の向上等を通じ教育・保育の質の向上を図ることが必要
○学力向上推進プラン第2次、小中一貫教育・町田っ子カリキュラムの改訂に沿って教育の充実を継続していく
ことが必要

施策の方向

- 親スタート期を支える
- 子育て期を支える
- 男女共同の子育てを進める
- 親の悩みを支える

○現状・主な実施事業等

① 親スタート期を支える

- ・利用者支援事業は計画通り実施
- ・両親学級の父親参加が増加しており目標を達成
- ・育児支援ヘルパー事業の利用者数は増加

○現状・主な実施事業等

② 子育て期を支える

- ・家庭教育支援事業の実施延べ回数は目標を達成
- ・各種乳幼児健康診査の受診率は目標を達成
- ・親支援プログラム事業の参加者数は目標を上回り、市民からの認知度も上がっている
- ・子育てひろば事業の利用者は増加している

○現状・主な実施事業等

③ 男女共同の子育てを進める

- ・子どもセンター事業の実施回数が増え、父親の来館者が増えている

- ・しゃべり場参加者の約40%がリピーターで、継続した参加になっている
- ・マイ保育園事業実施園が増えているが、登録人数は横ばい

④ 親の悩みを支える

○現状・主な実施事業等

課題… ○両親学級、育児支援ヘルパー事業は参加人数・利用者数が年々増加していることから、親支援の取り組みの層の拡充が求められる

施策の方向

- 保育支援の充実
- サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

○現状・主な実施事業等

①保育支援の充実

- ・0～2歳の低年齢児に待機児童が見られるが、2019年には解消見込
- ・学童保育クラブは、年々利用者が増加している
- ・一時保育・延長保育の実施園は増えている
- ・幼児教育・保育施設整備は待機児童数、入所状況等を踏まえ、当初の計画を見直した
- ・ファミリーサポートセンター事業の利用者は増えている

○現状・主な実施事業等

② サービスの質の向上と効果的・効率的な提供の充実

- ・送迎保育ステーション事業を新たに開所し、保護者の選択肢を増やすことができた

課題…○需要が高まっている学童保育クラブなど、引き続き保育サービスの質と量を確保していくことが必要

目指す姿

Ⅱ-3 きめ細やかな支援が必要な家族を支える

施策の方向

- 障がいのある子どもと家族への支援
- ひとり親家庭・貧困への支援
- 外国籍家族への支援
- 被虐待児と家族への支援

○現状・主な実施事業等

① 障がいのある子どもと家族への支援

- ・発達に遅れや心配のある子どもに対する療育は計画通りに実施
- ・発達に関する相談及び支援における市民対象の育児講座には多くの応募があった
- ・就学・進学相談において心理士等の専門的な見地から保護者への説明を提供できるような体制を整えていくことが課題

○現状・主な実施事業等

② ひとり親家庭・貧困への支援

- ・ひとり親家庭の増加に伴い、ひとり親相談の件数が増加
- ・ひとり親家庭の就労支援は就職率の目標を下回っている
- ・ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業の利用は目標を上回っており、ひとり親家庭の自立支援としてニーズが高まっている

○現状・主な実施事業等

③ 外国籍家族への支援

- ・日本語指導の利用者数はほぼ横ばい

- ・子育て支援ネットワーク会議で地域での定期的な情報交換を実施

④ 被虐待児と家族への支援

○現状・主な実施事業等

課題… ○発達に関する相談及び支援、増加しているひとり親家庭への支援の充実など、家庭の状況などに応じたきめ細やかな支援を充実していくことが必要。

施策の方向

○子どもと親への情報の確保

○現状・主な実施事業等

① 子どもと親への情報の確保

- ・ほっとメールまちだの延べ登録者数は目標を上回っている
- ・子育て情報誌「のびっこ」は子育てサイトへ情報発信の手段を移行
 - ・市民の子育てひろばについての情報源として子育てひろばカレンダーが挙げられる数が増えている
 - ・まちだ子育てサイトのアクセス数は伸びてきている

課題：○まちだ子育てサイトやほっとメールまちだの需要は今後も高まることが予想されるため、一層の充実が必要

目指す姿

Ⅲ-1 人と人が関わりつながる場をつくる

施策の方向

- 地域の人材育成と人材活用
- 地元事業所・商店の関わり
- 体験できる場の充実
- 交流できる場の充実
- 子どもセンター・地域子育て相談センターを中心とした地域づくり

○現状・主な実施事業等

① 地域の人材育成と人材活用

- ・子どもセンター事業の協力団体数は目標を上回っている
- ・ひなた村創作教室事業の指導者向け講座は参加者数の向上を図るため、需要にあった講座を開発していく必要がある

○現状・主な実施事業等

② 地元事業所・商店の関わり

- ・子どもセンター事業の実施回数は目標を上回っており、年を重ねるごとに各団体との協力関係が深まっている

○現状・主な実施事業等

③ 体験できる場の充実

- ・ひなた村創作教室事業の指導者向けプログラムサービスについて周知、PRに努め、需要を喚起していく必要がある
- ・大地沢青少年センター事業は利用者の高い満足度が得られている
- ・常設型冒険遊び場を3か所設立

- ・子どもクラブ1号館として木曾子どもクラブきそっちが開所
- ・地域団体等による放課後子ども教室(まちとも)を目標を上回る10箇所を開始

- ・子どもセンター事業の利用団体が少ない現状があるが、年々、要望が増えている

④ 交流できる場の充実

○現状・主な実施事業等

⑤ 子どもセンター・地域子育て相談センターを中心とした地域づくり

○現状・主な実施事業等

課題…○ニーズを捉え、地域の人材育成に係る事業の周知、PRを図っていくことが必要

施策の方向

- 子どもの安全・安心の確保
- 子育てしやすいまちづくり

○現状・主な実施事業等

① 子どもの安全・安心の確保

- ・子ども 110 番の家の子ども、団体を対象とした訓練数は目標を下回っているが、参加者からは好評

○現状・主な実施事業等

② 子育てしやすいまちづくり

- ・赤ちゃん・ふらっとの設置か所数は幼稚園・保育園での設置が増え、目標を上回っている

課題：○子ども110番の家が活用されるよう地域における訓練を広く展開していくことが必要